

「大滝不動尊天井画」

御朱印をいただくために…

- 一、御朱印帳を準備しましょう！
御朱印は御朱印帳に書いていただくものです。事前に準備しておくといでしょう。初めての方は、秋保神社・慈眼寺・大滝不動堂で販売しています。忘れた場合は半紙に書いていただくこともできます。
- 一、参拝してから御朱印をいただきましょう！
御朱印は記念スタンプではありません。参拝してから「御朱印所」でいただきましょう。
- 一、御朱印代を準備しておきましょう！
御朱印をいただいたら、御礼の志(300円以上)をお納めしましょう。
- 一、不在の場合は日を改めて再度参拝しましょう！

秋保郷は名取川に沿って仙台平野から山形方面へ向かう最短経路として主要な位置づけとなっていた二口街道(秋保街道とも)の街道筋に発達した町場です。この街道は平安時代、山寺・立石寺を開基した慈覚大師円仁が開いた道ともいわれており、室町時代以降は、塩釜から塩を運んだいわゆる「塩の道」として、また出羽三山(月山)へお参詣する信者が通行した「信仰の道」でもあったという、歴史のある道です。

現在町名となっている「湯元」「境野」「長袋」「馬場」は、秋保郷最西部の集落「野尻」とともに、二口街道筋における宿駅を基礎とした集落です。温泉の町としての印象が極めて強い秋保のもうひとつの地域性、それは円仁縁の場所が多く残る街道の集落の連続性です。いまなお人々を守り信仰を集めている神社や寺を回る御朱印めぐり旅に出かけてみませんか。

いってみっぺ 秋保 御朱印めぐり旅

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課(022-399-2111)
秋保市民センター(022-399-2316)

掲載されている情報は、平成31年5月現在のものです。

神社や寺院の参拝の証でもある御朱印。
秋保でも御朱印をいただける社寺があります。
御朱印帳を片手に秋保の神社や寺院を巡り、
秋保の歴史を垣間見てみませんか？

御朱印めぐり旅

秋保

ごしゅいん 御朱印とは…

御朱印とは、神仏や社寺名などを墨書で書き、御宝印などが朱印されたものです。

もともとは写経を納めた際の印としていただくものでしたが、現在は参拝した証としてもいただけるようになりました。

近年、大胆かつ流暢な筆使いで書かれる御朱印が、魅力溢れる芸術作品として親しまれるようになりましたが、単なる旅の思い出やスタンプとは違います。

御朱印は御神体や御本尊の分身ですので、大切に扱いましょう。きっと私たちに御加護を与えてくれる宝物になるでしょう。

御朱印めぐり旅MAP



1 秋保・里センター 秋保町湯元字寺田原40-7 ☎022-304-9151

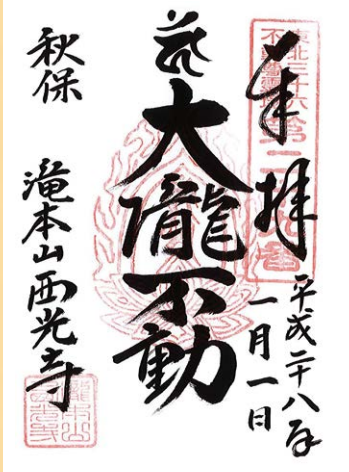
8 秋保大滝 日本三名瀑の一つ、幅約6m・高さ約55mの大滝。慈覚大師円仁にもその壮観さに心を打たれたとか。

7 大滝不動尊(おおたきふどうそん)



平安初期、慈覚大師円仁の開基と伝わり、立石寺(山寺)の奥の院としての歴史があります。東北三十六不動尊霊場の一つ。不動堂は1825年、木食知足上人が再興したもので、高さ3.3mの金銅不動明王座像が安置されています。東日本大震災で損壊しましたが、2015年春修復され、その威光は見る者を圧倒します。

プチネタ
不動堂は方三間の宝形造りで、軒回りに十二支などの彫刻があり、その中には「鯉」が隠されていて、それを二人で見つけると「恋」が成就すると。



右上の文字 「奉拝」
右下の文字 (参拝日)
中央上の梵字「カーン」
中央の文字 「大滝不動」
左の文字「秋保 滝本山西光寺」
右の印「東北三十六不動尊霊場第二十九番」
中央の印「カーン(梵字) 不動明王」御宝印
左の印「滝本山西光寺」



2 泉明寺(せんみょうじ)



日本三御湯(みゆ)の1つ「名取の御湯」(秋保温泉)鎮護のため慈覚大師円仁により開創されました。泉明寺の隣に建つ薬師堂は、明治期の神仏分離政策により、一時薬師神社となりましたが、現在は附属の仏堂となっています。

プチネタ

古より、温泉を訪れる人々から心身健康を願うお薬師様として、参拝されています。例年5月の例大祭では薬師堂を舞台に「湯元の田植踊」が奉納されています。湯元の田植踊は、長袋・馬場地区とともに「秋保の田植踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。



右上の文字 「奉拝」
右下の文字 (参拝日)
中央上の梵字「ペイ」
中央の文字 「薬師如来」
左の文字「薬湯山 泉明寺」
右の印「北国第九番」
中央の印「ペイ(梵字)」御宝印
左の印「秋保温泉薬湯山泉明寺」



6 慈眼寺(じげんじ)

1300年の歴史を持つ吉野・金峯山寺開創以来2人目となる大峯千日回峰行を満行した塩沼亮潤大阿闍梨が住職をつとめるお寺。本尊は修験道発祥の地、奈良県大峯山上にて役行者により感得された金剛蔵王大権現。毎月第1第3日曜日13時からの護摩祈祷と法話会には、全国からたくさんの参拝者が訪れます。

プチネタ

毎年2月3日の節分祭では、豆まきの掛け声が「福は内! 鬼も内! 」と称えます。全国から追い払われた鬼を集めて蔵王大権現の法力によって改心させるためだそうです。



写真は慈眼寺より提供

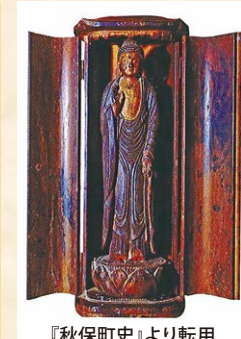
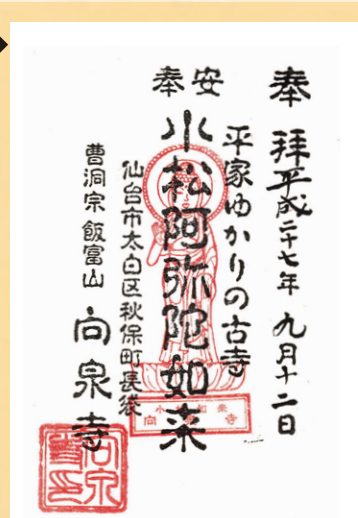


右上の文字 「奉拝」
右下の文字 「慈眼寺」
中央の文字 「蔵王大権現」
左の文字 (参拝日)
右上の印「福聚山」
中央上の印「ウーン(梵字)」御宝印
左の印「福聚山慈眼寺」



3 向泉寺(こうせんじ)

古称は五輪山小松寺。平重盛(平清盛の子)の曾孫にあたる長基(秋保氏祖)が、秋保に落ちのびてきた伝説を起因とする歴史を伝えています。長基は携えてきた重盛公の守り本尊「阿弥陀如来像」を安置し、秋保に定住したとされ、その孫俊盛が平家一族の菩提を弔うために寺を開基し、当時は小松寺と称されました。その後、天正7(1579年)秋保の領主としての地位を確立した勝盛の代に向泉寺と改めました。阿弥陀如来像は毎年10月第2月曜日(体育の日)にご開帳されています。



右上の文字 「奉拝」
右下の文字 (参拝日)
中央の文字 「小松阿弥陀如来」
左の文字「曹洞宗飯富山向泉寺」
中央の印「小松阿弥陀如来」御宝印
左の印「向泉寺印」

プチネタ
長基と同行してきたとされる平貞能(さだよし)が、名を「定義」と改名し、青葉区大倉の地に創建したのが定義如来西方寺。向泉寺と姉妹寺です。



4 秋保市民センター 秋保町長袋字大原44-1 ☎022-399-2316

5 秋保神社(あきうじんじや)



もとは坂上田村麻呂創建の熊野神社と伝えられていますが、室町時代永正10(1513)年、信州から勧請された諏訪神社と合祀され、それ以降「お諏訪さま」と呼ばれ旧秋保5ヶ村の信仰の中心的存在となりました。明治42(1909)年無格社合祀の勅命により、秋保村内の鎮守を合祀して秋保神社と改称されました。

プチネタ
近年「勝負の神様」としても知られ、有名なスポーツ選手も多く参拝されています。「新勝負」は羽生結弦選手のオリンピックの金メダルと国旗をイメージして作られたそうです。また境内にタラヨウの御神木があることから縁結びのご利益もあるとか(昔タラヨウの葉は恋文に用いられたとか)。



右上の文字 「奉拝」
右下の文字「勝負の神」
中央の文字「秋保神社」
左の文字(参拝日)
中央の印「秋保神社」
左の印「宮城県秋保神社社務所之印」

